

令和7年度 第3回都島区区政会議 グループでの意見交換

～グループでの意見交換について～

都島区区政会議では、委員の意見交換が活発となるよう、会議中にグループでの意見交換の時間を設けています。

委員のみなさまには、将来ビジョン2030（案）の4つの柱を2つに分けたグループ毎に、柱の視点からご議論いただきました。

（安全・安心のまち、明日に誇れるまち グループの意見発表）

- ・防災について、若者をどう防災活動に参加させるか工夫が必要だと感じている。事業に防災と名付けると何か勉強しないといけないような場と感じ、ハードルが高くなるので、防災を全面に出さず、ワクワク感のあるイベントを企画することが大切だと思う。
- ・大東地域では、大東小学校の土曜参観の授業の中で防災訓練を行った。子どもたちに防災に触れてもらい、参加で来られた保護者も参加してもらった。このような活動を各地域でも広げてほしいと考えている。
- ・高齢者の防災について、マンション住民の在宅避難では、エレベーターが止まると物資が運べなくなる。そういったところにPTAや民生委員、若い世代の協力体制が拡充されればいい。ユース防災リーダーの呼びかけ強化を区に要望する。
- ・防犯では、少子化・高齢化による地域の見守り力の低下が課題だと考える。区の施策をもっと強化してほしい。
- ・安全で美しいまちづくりについては、各地域の取組の差が大きい。取組をやっていないというか、取組が伝わっていない地域がある。区の「新！都島グリーン作戦」などをもっと見える形で取り組んでいけば、区内全体に広がっていくのではないかな。
- ・明日に誇れるまちづくりについては、たとえばギネス記録挑戦や盆踊りの人数など区として大きな目標を立てて、イベントづくり・発信に取り組んでいけばいいのではないかな。
- ・魅力発信について、例えばホームページやSNSで見守り活動を行っている高齢者に光をあてて活動を毎日発信するとか、都島区の魅力スポットを日々発信していけばいいのではないかな。

（人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち グループの意見発表）

- ・令和8年度事業案について、ダイバーシティ（多様性）の観点が少し欠けているのではないかな。特に外国人居住者や障がい者の視点が足りない。
- ・生活している中で、暗黙のルールと言われるような日本人同士でならある程度成り立つようなルールが、外国人住民には伝わりにくいケースが多いと考える。個々でコミュニケーションは行われているものの全体では特に生活の文化という点で課題がある。
- ・淀川連絡線跡地の大規模マンションが建設されている。マンション住民の町会加入については、区役所・地域・事業者で少しずつ話し合いが進められ、町会加入のメリットも協調しているとのことであったが、実際にはコミュニティ形成に関して町会だけではなく、住民同士のコミュニケーションをどうとって行くかが課題である。
- ・地域活動の担い手不足・働き盛り世代の参画について、区から情報発信しているが、届いていない部分もあるので工夫してほしい。
- ・高齢者福祉について、「百歳体操」など場所づくりは進んでいるが、情報取得の難しい高齢者層へのアウトリーチが弱い。
- ・地域福祉コーディネーターや民生委員の役割が明確でない。
- ・来年4月から道路交通法が一部改正がされ、自転車の走行ルールが変わる。警察と連携して、交通マナーではなく、交通ルール講習会・指導会の開催してほしい。また、大人だけではなく、子ども（小中学校、幼稚園、保育園）を対象にした講習会・指導会の開催してほしい。
- ・区政会議への若い世代参加の促進、若者の声をもっと反映される仕組みづくりが必要だと思う。